



令和2年12月11日

防災・減災研究センター2周年記念オープンディスカッション
『「相乗型豪雨災害」防災のネクストステップで何に取り組む?』
を開催します

広島大学では、平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえて、同年9月に防災・減災研究センターを設置し、防災・減災における研究を進めるとともに、行政機関、地域等との連携に取り組んでまいりました。

このたび、センター設置2周年を機に、研究者、行政職員、地域住民がこれからの防災について語り合うオープンディスカッションを開催いたします。

是非とも取材いただきますようご案内申し上げます。

1. 日時：

令和2年12月16日（水）13時30分～17時10分

2. 会場：

東広島キャンパス中央図書館1F ライブラリーホール（別添地図参照）

※登壇者のみ会場に集合します。

3. 開催形態：

一般の方（定員100名）にはウェブ会議形式で参加いただきますが、登壇者は中央図書館1階ライブラリーホールから参加します。報道機関の皆様は、会場から会議の様子を取材ください。

※中央図書館への入退館は、現在本学構成員に限られています。

会場での取材を行う方は、13時に中央図書館玄関前にお集まりください。

4. 申込方法：

専用フォームよりお申込みください

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/61895>

5. プログラム：

■開会挨拶 理事・副学長（学術・社会連携担当） 楯 真一

■討論

テーマ1：土砂・洪水氾濫の対策及び避難

コーディネーター：長谷川 祐治 先進理工系科学研究科 准教授

テーマ2：地震被害予測手法と都市の地震対策

コーディネーター：三浦 弘之 先進理工系科学研究科 准教授

テーマ3：新しい生活様式における避難と道路ネットワーク

コーディネーター：藤原 章正 先進理工系科学研究科 教授
（防災・減災研究センター調査研究部門長）

総括 ファシリテーター：海堀 正博 防災・減災研究センター長

■閉会挨拶 防災・減災研究センター長/先進理工系科学研究科 教授 海堀 正博

※開催にあたっては、検温・消毒等、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で実施いたします。取材いただく際には、マスク着用をお願いいたします。

※自社腕章を着用ください。

(会場付近の地図) 東広島キャンパス中央図書館1F ライブラリーホール



【お問い合わせ先】

広島大学学術・社会連携室 地域連携部門 三戸
Tel : 082-424-5871

発信枚数 : A 4版 5枚 (本票含む)

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

防災・減災研究センター2周年記念オープンディスカッション
『相乗型豪雨災害』防災のネクストステップで何に取り組む？」
を開催します

日 時：令和2年12月16日（水）13時30分～17時10分

会 場：東広島キャンパス中央図書館1F ライブラリーホール（別添地図参照）

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 名）

電 話 番 号 _____

取材いただける場合は、誠に恐れ入りますが上記にご記入頂き、

12月15日（火）15：00までにご連絡願います。

『相乗型豪雨災害』 防災のネクストステップで 何に取り組む？



13:35～14:35

テーマ1

土砂・洪水氾濫の
対策及び避難

14:40～15:40

テーマ2

地震被害予測手法
と都市の地震対策

15:45～16:45

テーマ3

新しい生活様式に
おける避難と
道路ネットワーク

コーディネーター

長谷川 祐治

先進理工系科学研究科
准教授

コーディネーター

三浦 弘之

先進理工系科学研究科
准教授

コーディネーター

藤原 章正

先進理工系科学研究科
教授

16:45～17:05 総括

ファシリテーター 海堀 正博 防災・減災研究センター長/先進理工系科学研究科 教授

日時

2020年12月16日(水) 13:30～17:10

会場

Zoomを用いたライブ配信 (定員100名)

主催

広島大学防災・減災研究センター

共催

一般社団法人国立大学協会、
広島工業大学地域防災減災教育研究推進センター

後援

公益社団法人砂防学会中四国支部、公益社団法人地盤工学会中国支部、地理科学学会、公益社団法人土木学会中国支部、公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部、広島県医師会

広島大学防災・減災研究センター <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hrrc>

【お問い合わせ先】 広島大学防災・減災研究センター TEL:082-424-4312 (平日9:00～16:00)

『相乗型豪雨災害』防災の ネクストステップで何に取り組む？

平成30年7月豪雨災害から2年が経過し、その間、私たちは次々と襲い掛かる想定外の自然災害を経験しました。特に、短時間の豪雨によりたびたび引き起こされる洪水・内水氾濫などの水害は、これまでの対策を根底から考え直さざるを得ないものでした。また、コロナ禍による避難方法の見直しや、あまり経験を積んでいない地震への対応などを考えていかなければいけません。

住民・行政・大学の3者の視点から、『相乗型豪雨災害』だけでなく、これから考えなければならない新しい3つの課題に対してどのように取り組み、壊れないまちづくりのための防災、壊れても被害を抑えるまちづくりのための減災について考えます。

プログラム

開会挨拶

理事・副学長(学術・社会連携担当) 楯 真一

討論

テーマ1: 土砂・洪水氾濫の対策及び避難(60分)

コーディネーター: 長谷川 祐治 (先進理工系科学研究科 准教授)

研究者: 水野 秀明 (九州大学大学院農学研究院環境農学部門 准教授)

中谷 加奈 (京都大学大学院農学研究科森林科学専攻 助教)

行政: 山本 悟司 (広島県土木建築局 砂防課 課長)

地域: 出下 一教 (小屋浦地区住民福祉協議会 会長)

テーマ2: 地震被害予測手法と都市の地震対策(60分)

コーディネーター: 三浦 弘之 (先進理工系科学研究科 准教授)

研究者: 田中 貴宏 (先進理工系科学研究科 教授)

後藤 秀昭 (人間社会科学研究科 准教授)

行政: 佐藤 伸樹 (広島県危機管理課 課長)

地域: 柳迫 長三 (広島市防災士ネットワーク 世話人代表)

テーマ3: 新しい生活様式における避難と道路ネットワーク(60分)

コーディネーター: 藤原 章正 (防災・減災研究センター調査研究部門長/先進理工系科学研究科 教授)

研究者: 繁本 憲文 (広島大学トランスレーショナルリサーチセンター 准教授)

神田 佑亮 (呉工業高等専門学校 教授)

行政: 神尾 博志 (東広島市危機管理課 課長)

地域: 園部 貴之 (中国新聞社 メディア開発室)

総括

ファシリテーター: 海堀 正博 (防災・減災研究センター長/先進理工系科学研究科 教授)

閉会挨拶

防災・減災研究センター長/先進理工系科学研究科 海堀 正博

お申込み方法

防災・減災研究センターのページから「申込フォーム」にアクセス
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hrrc/news/61838>
 12月16日(水) 13時30分～17時10分 Zoomを用いたライブ配信

